

令和8年栃木県タクシー協会会長 年頭のご挨拶

令和8年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

日頃より栃木県タクシー協会の活動に対し、格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、全国各地で台風や大雨による水害・土砂災害、地震や大規模な火災など、大きな被害をもたらす災害が発生しました。これらの災害により被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

地域交通を支える私たちタクシー業界としては、災害時において「安心・安全な移動手段の確保」、「被災された住民の移動支援」という役割が求められるところです。

会員各位のご協力を得て、その役割を果たせるよう努めて参りたいと考えております。

さて、タクシー事業を取り巻く環境は、新型コロナウイルス禍以降減少した輸送人員及び営業収入は回復傾向にあるものの、コロナ禍前の状況に戻るまでに至っておりません。さらに、近年の燃料高騰や諸物価高騰に加え人件費の上昇などもあり、タクシー事業者は引き続き厳しい経営を強いられております。

このような厳しい経営環境の改善を図るため、令和8年度当初の運賃改定を目指して取り組んでいるところであります。会員の皆様には、この運賃改定によりタクシー運転者を含む従業員の待遇改善や事業の適正化・効率化が図られますよう取組をお願いいたします。

今後、タクシー事業の役割はますます重要なものになると考えております。近年のバス事業の路線廃止や減便等により交通の足の確保への対応が今後ますます求められるところです。これまで、公共交通の利用が困難な地域住民の移動手段を確保するため、タクシーの機動性、柔軟性を活かしてデマンドタクシーを運行してきましたが、今後も関係機関と密接に連携してデマンドタクシーのより適正な導入に取り組むこととしております。

そのほか、利用者の利便性向上や交通環境の改善を目指し、UDタクシーや電気自動車の導入促進、運賃の支払い方法を現金による方法に加え、カード等による決済方法の導入に努めます。また、アプリ配車システム等の導入、事業効率化等を図るためDX化の推進に取り組むこととしております。

本年も、タクシー業界が一致団結し、行政機関や関係団体との連携を一層深めて安全・安心で利便性の高い輸送サービスの提供に努め、地域に根ざした交通インフラとしての使命を果たして参りますので、引き続き皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健康とご繁栄を祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和8年 元旦 栃木県タクシー協会

会長 君島 孝明